

三浦一族の伝説

頼朝の愛馬・池月



時代はさかのぼり、かつて房州（現在の千葉）にいた一頭のあばれ馬が田畑を荒らしたため村人たちは一致団結、手に手に武器を持ち馬を追い出しました。走水までなんとか海を泳ぎきり小原台（現在の防衛大学校周辺）に逃げ込んだ馬は疲れと渇きのため倒れ眠ってしまいます。夢枕に現れた馬頭

観世音菩薩に促されそばの岩をひづめで蹴ると、これは不思議、清水がこんこんと湧き出すではありませんか。（馬堀の地名はここからきています。）喜んだ馬は清水を飲み渇きを癒すと性質も穏やかな毛並みの美しい駿馬に変わりました。

その後、この馬は領主の三浦義澄により源頼朝に献上され「池月」と名づけられ愛されました。後に佐々木高綱が貰い受け、宇治川の合戦で一番乗りの手柄を立てることになります。

13 池月の銅像
横須賀市馬堀町4-14-1 京急馬堀海岸駅から徒歩約12分

腹切り松

1180年（治承4年）8月、衣笠合戦で敗れた三浦義澄たちは暗夜に城を出て久里浜から上総へと源頼朝の後を追います。

89歳の三浦大介義明は、頼朝のために息子らを逃がし、雨の中を愛馬・黒雲にまたがり清雲寺の坂を下っていました。細いあぜ道を軽々と通った黒雲は、不思議や不思議！老松の根元に並んでいる黒白の二つの石の前で止まったのです。大介が鞭をあてても一歩も動きません。馬がこのように止って動かないのは神の意志かも知れないと考えた大介は、黒雲のたてがみを撫で、「武勇すぐれた良い武士を主人として功名をたて、さすが大介の馬であったと世の人に言われてくれよ」と別れを惜しみました。大介は静かに鎧を解いて老松の下の芝生に座り、銘刀・国光の鞘を払って割腹したのです。

14 腹切り松
腹切松公園 横須賀市大矢部5-18 「満昌寺」バス停より徒歩約5分

運慶 鎌倉幕府と三浦一族

横須賀美術館開館15周年記念 運慶800年遠忌記念特別展



国指定重要文化財
運慶《木造毘沙門天立像》(部分)
1189年、浄楽寺蔵

運慶は、鎌倉幕府という新政権と密接に結びつき、北条氏からの信頼を背景に東国での活躍の場を得ました。鎌倉幕府初代侍所別当・和田義盛の発願による浄楽寺所蔵（1189年）をはじめ、横須賀ゆかりの氏族・三浦一族の造仏にも関与していました。展覧会では、市内に残る国指定重要文化財の運慶作品及びその関連作10余点を展示し、鎌倉幕府と三浦一族の歴史の一端を紹介します。

- 🕒 2022年7月6日（水）～ 9月4日（日）※休館日 8月1日（月）
- 📍 横須賀美術館 横須賀市鴨居4-1
- 🎫 一般 1,000(800)円 高大生、65歳以上 800(640)円

特別展 開催記念
横須賀美術館 能「七騎落」

8月13日(土) 能 「七騎落」出演 観世喜正
※有料公演となります。 狂言 「朝比奈」出演 野村萬斎
※鑑賞券の発売等詳細は、HPにてお知らせいたします。



横須賀の観光スポット、イベント情報を紹介するホームページです。旬のイベント、横須賀でしか味わえないグルメなどの情報が満載！横須賀行なら横須賀市観光情報サイトをCheck!!

お問い合わせ 横須賀市コールセンター(年中無休8:00~20:00)
☎046-822-2500



発行 横須賀集客促進・魅力発信実行委員会
事務局 横須賀市文化スポーツ観光部 観光課 046-822-8124 令和4年4月発行



JOY PIT
観光に役立つ情報などがGETできます。

見つけたらスマートフォンをかざしてみてください！
※反応しない場合は二次元バーコードを読み取ってください。

アプリ不要

三浦一族の情報は
Yokosuka Reconstruction Plan
ワクワク横須賀で検索！



三浦一族ゆかりの地



散策マップ

三浦氏ゆかりの地

① 衣笠城址

三浦大介義明が最後まで立てこもった衣笠合戦にて1180年に落城。春は桜が見事。



横須賀市衣笠町29番地
「衣笠城址」バス停より徒歩約20分

④ 近殿神社

三浦義村を祀る神社。義村の30cmほどの木像が安置されている。



横須賀市大矢部1-9-3
「岩戸」バス停より徒歩約6分



横須賀市大矢部1-5-10
046-836-2317
「満昌寺」バス停より徒歩約6分

② 満昌寺

三浦大介義明の菩提寺として源頼朝が建てた。国指定重要文化財、三浦大介義明座像を祀っている。



横須賀市大矢部5-9-20
046-836-0216
「満昌寺」バス停より徒歩約4分

⑤ 満願寺

一ノ谷の合戦「鶴越」一番乗りで有名な三浦大介義明の子、佐原十郎義連が創建した。慶派の国指定重要文化財「観音菩薩立像」他がある。



横須賀市岩戸1-4-9
046-848-3138
「岩戸」バス停より徒歩約6分



横須賀市大矢部1-13
「満昌寺」バス停より徒歩6分

③ 清雲寺

三浦氏の祖為通の子、為継が開基。御本尊「瀧見観音」(国指定重要文化財)は、南宋からの請来像であり、当時の三浦氏の力が伺える。

⑥ 薬王寺旧跡

三浦義澄公の墓で、和田義盛が父や叔父の菩提を弔うため創建されたものと伝えられている。横須賀市指定史跡。

和田義盛ゆかりの地

⑦ 浄楽寺

和田義盛夫妻の発願により運慶が造像した仏像5体(国指定重要文化財)が安置されている。
※拝観は要予約



横須賀市芦名2-30-5
046-856-8622
「浄楽寺」バス停より徒歩約1分



横須賀市秋谷2-16-2
046-856-8216
「前田橋」バス停より徒歩約6分

⑧ 正行院

和田義盛が1199年に巴御前の菩提寺として建立したとされる。



横須賀市長坂4-21-18
046-856-0758
「佐島入口」バス停より徒歩約10分

⑨ 無量寺

1189年、和田義盛が祈願のため、建立したと言われている七阿弥陀堂のひとつ。

三浦一族にまつわる地

⑩ 大善寺

不動尊が二代為継出陣の際に、戦場に現れ守ったと伝えられる。



横須賀市衣笠町29-1
046-851-1196
「衣笠城址」バス停より徒歩約15分



横須賀市久里浜8-29-1
046-822-0208(本務神社 諏訪神社)
「久里浜港」バス停より徒歩約1分

⑪ 住吉神社

古くは栗浜明神と称され、源頼朝が参詣をした。衣笠合戦の際、三浦一族が先勝祈願をしたといわれている。



横須賀市吉井1丁目1
「京急久里浜」駅
または「JR久里浜」駅より徒歩20分

⑫ 怒田城址

三浦氏によって築かれた山城跡。現在は吉井貝塚を中心とした遺跡として県指定史跡となっている。
三浦水軍の拠点。

三浦一族とは



▲三浦大介義明(楊洲周延『源平盛衰記』)

平安末期、武士の台頭により、東国に多くの氏族が誕生します。源家累代の家人となる「三浦一族」の始まりは、前九年の合戦で源頼義に従い、その恩賞として1063年三浦の地を与えられ衣笠城を築いたとされる三浦為通と伝えられています。為通の孫義継以降は、源義家の「義」の通字を貰い、義明、義澄、義村と「義」をつけ源氏との絆を深めていきます。

※前九年の合戦(1051~1062年)

陸奥安倍氏の乱。源頼義が坂東の兵を率いて合戦におよんだものです。

三浦義澄

鎌倉初期の武将で三浦一族の惣領。相模守護で義村の父。衣笠合戦では父・義明の命により、衣笠城を退却し源頼朝の元へ向かい、安房の地で合流した。鎌倉幕府の草創期を支えた重鎮。



和田義盛

三浦郡和田を本拠とした武将で、義澄の甥。源頼朝に近侍し、鎌倉幕府初代の侍所別当に補任され、平家追討や奥州藤原氏追討などで軍功をあげた。



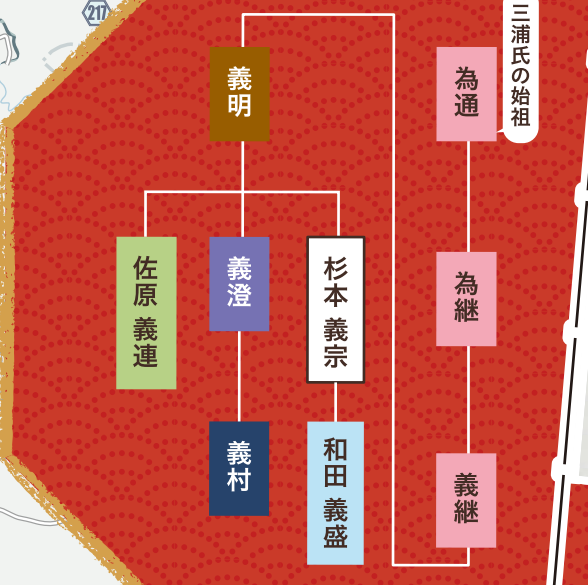
三浦義村

義澄の嫡男。北条義時とは盟友関係にあったとされ、度重なる幕府内外の政変や戦では常に協調路線をとった知将。13人の重臣ではないが、のちの評定衆の一員で幕府最有力の宿老に君臨した。

出典:「三浦半島日和」のHP【三浦義村(三浦平六)とは?】を基に作成
<https://miurahantou.jp/miura-yoshimura/>



三浦一族家系図



横須賀市 YOKOSUKA



三浦一族
ゆかりの地
散策マップ

三浦一族の末裔とされる 永島家の長屋門が残る

源氏の再興を 鯉のゆくて占った

運慶真作仏像が 5体安置されている

樹齢八百年の 頼朝手植えのツツジがある。 頭を突っ込むと頭痛が 直るとか…?

三浦氏三代の 廟所がある パワースポット

神出鬼没の海賊を 三浦大介義明の 四男が打ち取ったという